

1棟につき1枚申請

様式第24号(第49条関係)

令和〇年〇×月〇〇日

富谷消防署長 殿

提出日

住所

氏名

申告者 生年月日

申告者の情報を記入する

職業(職)

電話

## 不動産り災申告書

1	り災年月日	年 月 日 (火事があった日)				
	り災場所	(火事があった場所(住所等)を記入する)				
2	り災物件と申告者の関係	所有者・管理者・占有者(持ち家、オーナー、アパート等で変わる)				
3	建築・購入年月	建築又は購入金額				
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明				
3	年 月	3.3㎡(坪)当たりの金額(円)		総金額(円)		
		未記入で構わない		金額を記入する		
4	取得後の経過					
	修繕 改築	年・月	修繕・改築した個所	修繕・改築に要した金額(円)		
	増築	年・月	増築の概要	増築面積(㎡) 増築に要した金額(円)		
5	り災前の建物詳細					
	構造	屋根	外壁	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
	例. 木造	例. タン、瓦、スレート等	例. サイディング	1・2階	役場にデータある	
	建物の用途	例. 住居、倉庫等	居住世帯数	1・2世帯	居住人員	人
6	建物のり災状況(焼損・水損・破損)					
	り災場所	面積	見積額			
上記選択し火事で焼損した場所、面積、修理に要する見積額を記入する						
m 円						

7	建物・収容物以外のり災状況			
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数
		焼・消・他		年
	へいの類、庭木の類、看板などり災した物を記入する			年
				年
8	火災保険の契約			
	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)	
	保険に入っていれば記入する			

備考

- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものであります。
- あなたに連絡する場合の連絡先の電話番号がありましたら、その電話番号を記入してください。
- この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- この申告書は、建物1棟について1枚を使用してください。

記載要領

- (1の欄)  
り災物件と申告者との関係の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
- (3の欄)  
1 各欄の記入にあたって、それが推定によるものか、記憶に基づくものか、あるいは帳簿や契約書などの記録によって明らかなものか、いずれかあてはまるものを○で囲んでください。  
2 総金額は、り災した建物の総計金額のことで。
- (4の欄)  
建物を取得してから、り災するまでの間に修繕又は改築した箇所を具体的に記入してください。
- (5の欄)  
1 建物の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用されている用途を記入してください。  
2 坪を平方メートルであらわす場合は、3.3を乗じてください。
- (6の欄)  
焼損、水損、破損の別を記入。時価見積額を記入して下さい。
- (7の欄)  
1 り災物件名の欄は、へいの類、庭木の類、看板などり災した物を記入してください。  
2 り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼・消・他の意味は次のとおりです。  
(1) 焼：燃えたもの、熱で侵されたものなど。  
(2) 消：消火するために壊れたもの、濡れたもの、汚れたものなど。  
(3) 他：煙で汚れたもの、運びだすときに壊れたもの、避難するときに壊れたものなど。

- 申請者は、申請時に本人であることが確認できるもの（官公署発行の身分証明書（運転免許証、パスポート、住民基本カード、保険証等））及び印鑑を持参してください。
- 代理人の場合は、委任状を提出してください。ただし、代理人が住家等の関係者の配偶者、同居親族若しくは血族二親等以内の親族又は住家等の勤務者である場合においては、委任状は不要です。
- 申告書提出の際は、事前に富谷消防署に連絡してください。  
富谷消防署 TEL 358-5474